東京商工会議所墨田支部設立 50 周年記念式典 老田会長挨拶

明けましておめでとうございます。

ただ今ご紹介いただきました、墨田支部会長の老田でございます。

本日は、東京商工会議所墨田支部設立 50 周年記念祝賀パーティー並びに 2025 年新年賀詞交歓会に、ご多忙中にもかかわらず、かくも多数のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。ご来賓として小林会頭をはじめとする東京商工会議所の幹部の皆様、山本区長をはじめとする墨田区の幹部の皆様、並びに国会・都議会・区議会の議員の皆様、関係諸官庁・関係団体の皆様にお越しいただき、総勢 459 名という盛況となりましたこと、心より御礼申し上げます。

さて、50 年前の 1974 年、先人たちは地域の発展と商工業の振興を目指し、墨田支部を設立いたしました。当時はオイルショックによる「狂乱物価」と呼ばれるインフレが発生し、高度経済成長の終焉をもたらしました。50 年の間にはバブル崩壊やデフレ、東日本大震災、そして近年のパンデミックなど、幾多の困難を経験してまいりました。近年では、工場がマンションへと変わりつつあり、「観光」が墨田の主要産業の一つに加わるなど、墨田は大きく変化いたしました。そのような中、私たちは商工会議所という強固な絆で結ばれ、数々の困難を乗り越え、共に未来を切り拓き、この 50 周年という記念すべき年を迎えることができましたことは、諸先輩方への敬意と感謝を申し上げるとともに、大変誇りに存じます。50 年の歴史は、お手元にお配りしました報知新聞様のご協力で作成しました PR 紙でございますので、ご高覧頂ければと思います。

さて、現在、政治経済の不確実性が増大し、人手不足も相まって、企業は厳しい経営判断を迫られる場面が増加しております。このような状況下において、地域経済の安定と発展を支えるため、東京商工会議所の役割はこれまで以上に重要性を増していると認識しております。墨田支部といたしましては、会員企業が安心して適正価格で取引を行い、賃上げを実施し、将来への投資を行える環境づくりに尽力してまいり所存です。つきましては、会員の皆様にはぜひ「パートナーシップ構築宣言」へのご登録をお願いいたします。サプライチェーン全体での共存共栄を目指し、より良好な取引関係を構築していくことは、持続可能な企業活動と地域経済の発展に不可欠であります。大企業はもとより、私たち中小企業が率先して宣言を行うことによって、先述の環境づくりも大きく前進するものと確信しております。

さらに、「未来」に向けて、持続可能な発展を目指す上では、新たな技術やイノベーションの創出が不可欠です。もともと墨田区は、長い歴史と伝統を誇る「ものづくり」の街であり、

多くの工場が集積しております。その「ものづくり」の良き伝統を継承しながら、同時に 50 周年コンセプトにある「新時代への挑戦」を推進してまいります。いくつかテーマを挙げますと、都市型工業のあるべき姿の探求、墨田区産業共創施設（SIC）や大学等の研究機関の積極活用、環境負荷を徹底して抑制した生産方法の導入、業態転換たとえば印刷業からコンテンツデータビジネスへの転換など、墨田区産品を墨田の流通事業者の販売力で広く世に送り出す地産地商の推進、さらには文化芸術やスポーツと商工業との積極的な連携など、枚挙にいとまがありません。加えて今年、未来を学ぶ絶好の機会となる大阪・関西万博が開催されます。弊社では社員旅行での参加を予定しておりますが、皆様もぜひ足をお運びいただき、未来を体感し、新たな取り組みに挑戦する契機としていただければと存じます。

このような取り組みでは、私たち商工会議所は、地域産業界の代表として、行政や議会、金融機関、教育機関等と共に、「オールすみだ」の一員として積極的に取り組んでまいります。そして、「ものづくり」「ことづくり」「価値づくり」に関わる様々な事業者が生き生きと活躍する、「暮らし続けたい・働き続けたい・訪れたいまち すみだ」の実現に向けて、今後も邁進してまいります。

最後に、改めてこれまでの皆様からの温かいご支援に心より感謝申し上げますとともに、記念事業の推進に尽力してくれた「50周年記念事業ワーキング」の役員・事務局の皆様に、深い敬意と感謝を表します。

さらには本年が会員企業の皆様にとって「新たな成長への飛躍の年」となり、ひいては「豊かな墨田、豊かな東京、豊かな日本の実現」に繋がることを心より祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

ご清聴、誠にありがとうございました。